

第45回「議員と語りかい」報告書

(文教厚生常任委員会：No.1)

開催日	令和6年5月15日(水曜日) 18時00分 ~ 19時30分		
開催場所	霧島市役所 議会棟4階 第3・4委員会室		
団体名	鹿児島県教職員組合始良伊佐地区支部 霧島地区協議会	参加人員	10人 (男 5人：女 5人)
出席議員	松枝正浩、野村和人、藤田直仁、山口仁美、宮田竜二、前島広紀、有村隆志		
役割分担	班長(松枝正浩)、副班長(野村和人)、記録係(宮田竜二)		
テーマ及び具 体的な内容	①教育予算について ②教職員の働き方改革について		

意見交換での 主な話題等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>テーマ①：教育予算について</p> <p>◆今年、小学校の教科書が更新（4年スパン）されたが、教員用の教科書、指導書がいきわたっていないので、教員が生徒の教科書をコピーなどしている現状。来年は中学校の教科書が更新されるので、この予算を確保してほしい。</p> <p>◇令和6年度の教育部予算は、総予算695億8千万円のうち、62億5,098万9千円となっている。</p> <p>◆特別支援学級の数が増えているが、簡易的に1つの教室を半分にして対応している。 (授業に集中できない教育環境。プレハブ教室など工夫して教育環境を整備してほしい。)</p> <p>◆特別支援学級の生徒が通常学級と一緒にいる教科の場合は、40人を超える教室もある。普通教室授業では、特別支援学級の生徒がカウントされず、通級支援学級の場合は、カウントされている。ダブルカウントされないのはおかしい。特別支援学級の生徒を正しくカウントして35人教室を保ってほしい。</p> <p>◆通常学級、特別支援学級の他に、「通級支援学級」が位置づけられているが、国分西小学校、宮内小学校、国分小学校にしかないので、保護者の送迎が必要である。教室、教員も不足している。市教委から県教委、文科省へ要望してほしい。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆議会だより74号に本年の予算記事が掲載されているが、箱もの予算が多い。輝く未来を目指すのであれば、子どもたちを育てる予算を増やすべきだ。

◆三体小学校では、広大な敷地の除草作業を4人の先生で行っている。

◇文教厚生常任委員会では、小規模校の再編成について調査している。再編された場合、先生の負担も軽減され、予算面でも有効であると思われるが、どのように考えているか。

◆生徒のことを考えて、保護者、地域の方がよく話し合っ決めていくべきではないかと考える。また、中山間地域の小中学校では、バス会社と協議して路線バスで通学している現状である。学校再編には、スクールバスの導入が必須であるとする。

◆ICT学習として教師用のタブレットが必要

◇令和6年度当初予算の小中学校ICT環境整備事業として、先生用のPCが、計上されている。

◆中学校へのスクールカウンセラー訪問頻度が月に1回であったのが、現在は2回増えて、年14回となっている。1回の時間も3時間であり少ない。国分中央高校は、学校に常駐している。児童生徒の視点で考えるなら、回数を週1回程度に増やす必要がある。

◇いじめ・不登校対策等子どもサポート事業として、2,365万円予算計上されたが、支援が足りるのか現時点では不明なので、先生方に確認していただきたい。予算の内訳実態がどうであるかが重要なので、確認する必要がある。

テーマ②：教職員の働き方改革について

◆職員自身が自分達の出退勤状況をしっかり記録するという意識改革と実現しやすい環境が大切である。市としてのフォローアップを求めたい。

◆校内の労働安全委員会もあるが、市の方で、総括労働安全衛生委員会を作ってほしい。それを受けて、予算化できる部分があれば、反映して欲しい。

◆年10回の土曜授業がある。土曜日にしかできない特徴ある授業または学力向上を目的としているはずだが、実態が伴っていないし、子どもたちが、とても疲れている。目的に沿った改善ができないか。霧島市教育委員会は、附則で回数を指定している。回数の見直しもできないか。

意見交換での
主な話題等

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇土曜授業が出来ない場合、影響はどうか。

◆予備時数を活用すれば問題ない。現状100時間だが、30時間程度で対応できるのではないかと。予備時数は、テスト対策に使っている。年間を通して計画すると授業をせざるを得ない。他市では、10時間以内の融通が効いているところもある。この点について、霧島市では、10時間の縛りがある。

◆部活について、地域移行の話が出ている。地域移行推進協議会の中で、指導者の確保や研修、予算などの課題がある。部活は、学校教育のひとつであり、簡単に地域移行するのは難しいとの意見も出た。

部活の大会への回数制限など、見直しが必要ではないか。

意見交換での主な話題等